

各 位

会社名 日本 B S 放送株式会社
 代表者名 代表取締役社長 目時 剛
 (コード番号 9414 東証第二部)
 問合せ先 取締役経営企画局長 内田 克幸
 (TEL 03 - 3518 - 1900)

東京証券取引所市場第二部への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成 26 年 3 月 12 日に東京証券取引所市場第二部に上場いたしました。
 今後とも、なお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、平成 26 年 8 月期（平成 25 年 9 月 1 日～平成 26 年 8 月 31 日）における当社の業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきましては別添のとおりであります。

【単体】

(単位：百万円・%)

項 目	平成 26 年 8 月期 (予想)			平成 26 年 8 月期 第 1 四半期累計期間 (実績)		平成 25 年 8 月期 (実績)	
	売上高	構成比	対前期増減率	売上高	構成比	売上高	構成比
売上高	7,800	100.0	111.2	1,837	100.0	7,015	100.0
営業利益	1,550	19.9	113.8	386	21.0	1,362	19.4
経常利益	1,500	19.2	110.9	397	21.7	1,352	19.3
当期（四半期）純利益	1,200	15.4	90.7	362	19.7	1,322	18.9
1株当たり当期（四半期）純利益	152 円 74 銭			50 円 36 銭		183 円 75 銭	
1株当たり配当金	20 円 00 銭			—		0 円 00 銭	

(注) 1. 当社は、連結財務諸表を作成しておりません。

2. 平成 25 年 8 月期（実績）及び平成 26 年 8 月期第 1 四半期累計期間（実績）の 1 株当たり当期（四半期）純利益は、期中平均発行済株式数により算出しております。平成 26 年 8 月期（予想）の 1 株当たり当期純利益は公募予定株式数（1,380,000 株）を含めた予定期中平均発行済株式数により算出し、オーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資分（最大 349,500 株）は考慮しておりません。

3. 平成 25 年 12 月 16 日付で、株式 1 株につき 2 株の株式分割を行っておりますが、平成 25 年 8 月期（実績）及び平成 26 年 8 月期第 1 四半期累計期間（実績）の 1 株当たり当期（四半期）純利益は、平成 25 年 8 月期の期初に株式分割が行われたと仮定し算定しております。

以 上

平成26年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年3月12日

上場会社名 日本BS放送株式会社 上場取引所 東
 コード番号 — URL <http://www.bs11.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 目時 剛
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画局長 (氏名) 内田 克幸 (TEL) 03 (3518) 1900
 四半期報告書提出予定日 — 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年8月期第1四半期の業績(平成25年9月1日～平成25年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年8月期第1四半期	1,837	8.1	386	10.2	397	17.3	362	17.7
25年8月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
26年8月期第1四半期	50.36		—					
25年8月期第1四半期	—		—					

(注) 1. 当社は、平成25年8月期第1四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成25年8月期第1四半期の数値及び平成26年8月期第1四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
 2. 当社は、平成25年12月16日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年8月期第1四半期	10,178	8,348	82.0
25年8月期	8,880	7,985	89.9

(参考) 自己資本 26年8月期第1四半期 8,348百万円 25年8月期 7,985百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年8月期	—	—	—	—	—
26年8月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 当社は、平成25年12月16日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり配当金を算定しております。

3. 平成26年8月期の業績予想(平成25年9月1日～平成26年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,800	11.2	1,550	13.8	1,500	10.9	1,200	△9.3	152.74

(注) 当社は、平成25年12月16日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり当期純利益については、当該株式分割を考慮して算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年8月期1Q	7,198,516株	25年8月期	7,198,516株
② 期末自己株式数	26年8月期1Q	—株	25年8月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年8月期1Q	7,198,516株	25年8月期1Q	—株

- (注) 1. 当社は、第1四半期の業績開示を平成26年8月期より行っているため、平成25年8月期第1四半期の期中平均株式数を記載しておりません。
2. 当社は、平成25年12月16日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による各種金融・財政政策の効果が発現する中、家計所得や投資の増加傾向が続き、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されております。

当社を取り巻くBSデジタル放送業界は、デジタル放送受信機の普及(「平成25年 情報通信白書」総務省調べ)に伴い、視聴可能世帯数の割合は全世帯の72.4%(「BS世帯普及率調査」(株)ビデオリサーチ調べ、平成25年9月及び12月調査の平均値)となり、また、BSデジタル放送事業を含む衛星放送メディア分野の広告費は前年比で113.7%の伸長となりました(「2012日本の広告費」(株)電通調べ)。

このような状況下、当社は皆様の「心に響くBS11」をコンセプトとして、ターゲットを絞ったクオリティの高い番組作りに引き続き邁進いたしました。平成25年10月の番組改編では、接触率の向上を目的として、これまで放送したレギュラー番組の2時間特番などの実施や、紀行番組『とことん紀行』を『とことん歴史紀行』にリニューアルし、石丸謙二郎氏のナレーションで、歴史上の人物のエピソード、ゆかりの場所、史跡など現代に継承される伝統文化に迫る番組を放送いたしました。また、新番組として古都にまつわる国宝の神秘に迫る『京都・国宝浪漫』、このほか9月には『第32回 全日本ジュニアバドミントン選手権大会』で2020年の東京オリンピックを目指すジュニア世代の活躍をお届けし、10月には『平成25年度 全日本学生柔道体重別選手権大会』を放送するなどスポーツ番組の充実を図りました。更に、韓国ドラマにおいては、引き続きBS初登場の作品を多数編成・放送したことにより、売上増加に寄与いたしました。

費用面につきましては、引き続き番組制作費と番組購入費等の放送番組関連費用の効率的なコントロールに努めながら、認知度向上のための施策として、全国紙・地方紙への広告出稿や、首都圏の駅構内を中心としたデジタルサイネージ(電子看板)を戦略的に実施いたしました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は1,837,366千円となりました。営業利益は386,471千円、経常利益は397,937千円、四半期純利益は362,546千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ1,297,767千円増加し、10,178,648千円となりました。主な要因は、現金及び預金が1,096,129千円減少したものの、建物(純額)が1,103,286千円、土地が1,216,178千円増加したことによるものであります。

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ935,220千円増加し、1,830,233千円となりました。主な要因は、短期借入金が増加したことによるものであります。

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ362,546千円増加し、8,348,415千円となりました。この要因は、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年8月期の業績予想につきましては、政府の経済政策への期待による景気回復の動き、また当社を取り巻く事業環境を鑑み、引き続き安定的に推移するものと考えております。

従いまして、平成26年8月期の業績見通しにつきましては、売上高7,800百万円(前期比111.2%)、営業利益1,550百万円(前期比113.8%)、経常利益1,500百万円(前期比110.9%)、当期純利益1,200百万円(前期比90.7%)を見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

		当第1四半期会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金		1,799,646
受取手形及び売掛金		1,189,191
番組勘定		68,623
その他		624,900
貸倒引当金		△10,800
流動資産合計		3,671,562
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)		2,161,672
土地		4,022,162
その他(純額)		146,158
有形固定資産合計		6,329,993
無形固定資産		12,435
投資その他の資産		164,657
固定資産合計		6,507,086
資産合計		10,178,648
負債の部		
流動負債		
買掛金		177,210
短期借入金		1,000,000
未払法人税等		40,479
その他		530,458
流動負債合計		1,748,148
固定負債		
退職給付引当金		28,976
その他		53,108
固定負債合計		82,085
負債合計		1,830,233
純資産の部		
株主資本		
資本金		2,749,782
資本剰余金		2,083,573
利益剰余金		3,515,059
株主資本合計		8,348,415
純資産合計		8,348,415
負債純資産合計		10,178,648

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位:千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成25年9月1日 至平成25年11月30日)
売上高	1,837,366
売上原価	958,765
売上総利益	878,600
販売費及び一般管理費	492,128
営業利益	386,471
営業外収益	
受取利息	93
受取賃貸料	27,438
その他	159
営業外収益合計	27,691
営業外費用	
支払利息	1,713
賃貸収入原価	10,512
上場関連費用	4,000
営業外費用合計	16,225
経常利益	397,937
税引前四半期純利益	397,937
法人税等	35,390
四半期純利益	362,546

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。